

九月定例会一般質問(抜粋) 長期ビジョンと戦略的なまちづくりを



阿久津善一議員

社会経済環境が一層厳しさを増している状況において、本市の目指す長期ビジョンをどのように考えているのか。また、本市の持続的な発展や成長に向け、どのように戦略的なまちづくりを進めていくのか、見解と決意を伺う。

打っていくことが重要。北関東や首都圏における存在感をさらに高め、将来の道州制下においても中心的都市となっていくことを目指す。また、「ネットワーク型 コンパクトシティ」の形成や地域経済・産業の育成・支援などの取組を着実に推進し、「都市力」や「人間力」、「地域力」の向上を図り、本市の持続的な発展や成長を目指していく。

衆議院選挙の結果について 今後の行財政運営について 中心市街地の活性化について もつたない運動の推進について 産業政策について 産業振興策について 農業振興策について 教育行政について 地域教育の推進について 小規模特認校の今後の対応について

九月定例会一般質問(抜粋) 上河内・河内地域の障がい者生活支援事業整備を



角田和之議員

市が実施している「障がい者生活支援事業」は上河内・河内地域で実施している事業所がないが、両地域での相談支援体制の整備についてどのように考えているのか。既存の相談業務の充実に向けた取組についてはどのように考えているのか。また、市内の介護ヘルパーの就業状況と、今後の確保策について伺う。

河内地域については、新たな「総合的な相談支援体制の整備」にあたり、十分考慮しながら取り組んでいく。相談支援体制の整備にあたっては、これまでの福祉サービスの利用や日常生活に関する相談に加え、就労や権利擁護に関する支援にも十分対応できる体制整備に取り組んでいく。介護職員確保については、給与水準が低いことなどさまざまな課題があり、処遇改善交付金などの制度周知に努め

ていく。 その他の質問項目 新型インフルエンザ対策について LRTについて 自殺予防対策について 環境行政について 自然環境保全への取組について 産業廃棄物の中間処理施設の建設計画について 農業と商工連携について 安全・安心なまちづくりについて 建築行政について

九月定例会一般質問(抜粋) 「住んでみたい、住み続けたいと思える町」の具体的姿は



熊本和夫議員

都市計画マスタープランについて、「地域別構想」がどのようなものになるのか、その方針について伺う。また、「住んでみたい、住み続けたいと思える町」の具体的姿とはどのようなものなのか伺う。

栗田都市開発部長 「地域別構想」については、現在、各地において「ワークショップ」を開催しているところであり、既存ストックの

活用や生活利便施設の充実などによる居住環境やコミュニティの維持が必要と考えている。また、「住んでみたい、住み続けたいと思える町」の具体的姿については、地域特性に応じた「拠点」の配置やそれらを結ぶ「交通ネットワーク」、「多様な暮らし方を選択できる居住環境」など、地域のありべき姿を描くことで、本市の存在感を磨き、「持続可能なみんなに選ばれるまち」を目指していきたい。

その他の質問項目 予算について 今年度の予算について 来年度の予算について 中期財政計画について 生活保護について 妊婦健診について 障がい者の就労支援について 自転車のまち宇都宮について 地域による学校づくりについて 地域学校園の推進について

九月定例会一般質問(抜粋) 農業王国にふさわしい、魅力ある施設整備が必要



岡本芳明議員

農産物の販売促進について、市長自らが農産物のトップセールスをしてはどうか。地域が取り組む農産物の販促事業を、行政がさらに支援すべきと考えるが、見解を伺う。また、農業王国にふさわしい、魅力を持った施設の整備が必要と考えるが、見解を伺う。

佐藤市長 宇都宮市の農産物は大変美味しいとの評価をいただいている。これま

で以上にさまざまな機会を捉えてトップセールスに自ら積極的に取り組んでいく。首都圏において販売活動に取り組むことは大変有意義なことであり、将来的には、オール宇都宮として首都圏に向け販促活動ができるよう支援策の検討や仕組みづくりに努める。「農業王国にふさわしい、魅力を持った施設」については、建設・運営主体、立地条件など、宇都宮農業協同組合と連携しながら検討を行い、

年度内を目標に取りまとめたい。 その他の質問項目 地域ビジョンについて 食の街道づくりの推進について 地場産業である大谷石利用の活性化について 鬼怒川河川敷の有効活用について 教育行政について 児童生徒の学力向上について 学校クレーマーの対応について